

原井の三則

- ☆場を清める
- ☆時間秩序を正す
- ☆人間関係を高める



第199号 令和4年
9月15日(木)
発行・原井小学校
TEL22-0863

暑さがずいぶんとやわらぎ、空の雲などを見てみると、秋の訪れを感じる今日この頃です。今週末には、原井校大運動会を控え、子ども達は、練習に一生懸命です。六年生は、小学校生活最後の運動会ということで、協力をしながら、運動会の成功を目指して全力投球をしています。



新型コロナウイルスの状況について

新型コロナウイルスの感染状況について、全国的には収束に向かいつつあるように感じますが、まだ決して安心できるような状況にはありません。

原井小学校では、一学期末に六年生児童への感染が広がり、他学年への感染拡大を防ぐために、終業式を行うことなく夏休みに入るといふ決断をしました。夏休みが明け、二学期が始まっています。いづれも、全校への感染拡大を防ぐためであり、致し方ない措置であったと考えています。保護者の

皆様には大変ご心配をおかけしました。夏休みすぐに計画をしていました個人懇談も中止とせざるを得ず、一学期の子ども達の様子をお伝えすることができなかつたことは残念でなりません。折に触れ、少しずつでもお伝えしていくことができればと思うところです。

十三日現在、コロナに関わって学校を休んでいる子どもは数人ほどです。九月二日には、コロナ陽性による出席停止が二十七人いましたので、本当に落ち着いたなという印象です。しかしながら、市内には今もコロナによって閉鎖をしている学校もありますので、油断できません。一人の子どもがコロナ陽性ということになると、必然として自宅待機となり、家族に感染が広がっていきます。昨今よく言われているエアロゾルによるものなのか、換気がよくない狭い空間の中で長時間一緒にいると、感染が広がるという印象を強く受けます。

これまでの感染拡大防止の対策を継続するとともに、換気の徹底を全校

に呼び掛けているところです。今後、感染がゼロになることは難しいかと思いますが、感染拡大防止対応の徹底と最悪を見越した早め早めの対応を心がけていきます。

全国学力学習状況調査について

四月十九日に実施された、全国学力学習状況調査の結果が返ってきました。この調査は、全国全ての小学校六年生及び中学校三年生を対象に行われるものです。これからの社会を生きる子ども達に必要な学力が身に付いているかどうかを図るために行われるものであり、学校は、自校の調査結果を分析し今後の授業改善につなげていくものです。基本的には、小学校は国語と算数の調査ですが、今年度は理科についても実施されました。

原井小学校の調査結果は次の通りでした。

	平均正答率 (%)		
	国語	算数	理科
原井小	61	62	59
浜田市	60	57	57
島根県	64	61	62
全国	65.6	63.2	63

国語、算数、理科ともに、浜田市の平均正答率を上回ってはいますが、算数以外は、県平均に及ばないという状況です。しかしながら、よくがんばったという印

象をもちました。

全教職員で、結果についての分析検討を行いました。無回答率も低く、あきらめずに最後まで問題に向かった姿をうかがい知ることができました。数字で答えなければならぬところを記号で答えるなどのミスもありましたので、本来の結果はもっとよかつたのではないかと感じました。音読を大切にしたり、書く活動を学習に積極的に取り入れていたりしたことが、学校図書館活用教育とも相まって、実を結びつつあるのではないかと思います。今年度は、子ども達の基礎的国語力を伸ばしていくことを大きな目標としています。国語力がアップすれば、国語科に限らず、全ての教科等における理解についても、大きな伸びが期待できます。その成果が十二月の島根県学力調査の結果として出ることを期待するところです。

教育実習生紹介



八月三十日〜九月二十八日までの約一か月間、教育実習生を受け入れていきます。原井小学校出身で瀬戸ヶ島から通っている 濱谷碧那 さんです。環太平洋大学の三年生です。しっかりと学んで、卒業後は正規の教員として原井小学校に戻ってきてほしいものです。